



北の沢

札幌市立北の沢小学校 学校便り

令和7年(2025年)11月28日

No.10



藻岩山に倣う

健やかな体育成部長 板橋 雅憲

出勤時、私の住まいから本校に向かって国道230号を北上し、川沿15条の大型スーパーの横を過ぎ、ゆったりとしたカーブを曲がり終わると、フロントガラスいっぱいに雄大な藻岩山の姿が広がります。辛夷や蝦夷山桜が映える春、深緑の夏、紅葉の秋、雪化粧の冬と、四季折々の美しさを見せる藻岩山から仕事に向かう活力をもらっていると言っても過言ではありません。

そんな藻岩山の麓に位置する本校の大きな特色の一つに、「学校から歩いてスキー場に行けること」があげられます。スキー用具は、運搬業者をお願いすることにはなりますが、子どもの足でも30分程度で南斜面に着けるアクセスのよさをこの冬も活用し、3年生以上は、2日間の藻岩山スキー学習を予定しています。例年、保護者の方の活動サポーターとしてのご支援をいただいておりますので、今年度も多くの方のご協力をお願いいたします。

スキーと言えば、今月初め、6年生のキャリア教育の一環で、全日本スキー連盟ナショナルデモンストレーター片岡高弥さんをお招きし、お話をうかがう機会がありました。プロスキーヤーとしての仕事のことだけではなく、働くことの意味や勉強をすることの大切さについてお話くださり、子どもたちにとって大きな学びとなりました。そして、サプライズとして、2月5日(木)のスキー学習の際、片岡さんが特別コーチとして指導してくださることも伝えていただき、子どもたちのスキー学習へのモチベーションがより一層、膨らむこととなりました。

さて、私たち「健やかな体育成部」は、学校重点目標「幸せ感じる学校」の下、「健康で明るい子」の育成を目指し、運動会や遠足、水泳学習、スキー学習、すこやかデー、避難訓練など、健康・安全に関する学習、行事の企画推進の業務に取り組んでおります。

グラウンドでの遊びを好む子が多い本校ですが、本格的な降雪となるこれからのシーズンは、どうしても屋内で過ごすことが多くなり、運動不足が懸念されます。学校では、グラウンドや藻岩山でのスキー学習はもちろん、防寒対策を施した上での外遊びや札幌市教育員会主催「雪かきチョボラ・雪かきチャレンジ」を推奨し、冬場の体力向上を進めて参ります。ぜひ、ご家庭でも、この立地条件のよさを生かしたスキーをはじめ、冬期間の健やかな体づくりにご理解とご協力をいただければ幸いです。

ところで、前出のキャリア教育の授業後、お礼を兼ねた子どもたちの感想文をお届けしたところ、片岡さんから学校宛にメールを頂きました。そこには、次のような嬉しい一文が記されておりました。

「子どもたちの授業中の態度や文章中の言葉遣いが非常に素晴らしく、日頃から先生方がしっかり向き合っているからこそだと強く感じました。」

北海道開拓以前、この地で暮らしていたアイヌの人々は、藻岩山を「インカルシペ」と呼んでいたとのこと。その意味は「いつも登って見張りをするとところ」であり、彼らにとっての聖地であったそうです。その間近で教育に携わる私たち教職員もまた、藻岩山に倣い、子どもたちを常に見守り、よりしっかりと一人一人の子どもに向き合い、拠り所となることで、子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様にとっての「幸せ感じる学校」を築き上げるため、今後も精進を重ねて参ります。

